

# カトリック河原町教会だより

2016年1月

## 主のいつくしみの新年おめでとうございます

「主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。  
それは朝ごとに新たになる。」（哀歌3・22～23）



絵:「カニジャーニの聖家族」ラファエロ作(1507年)

「主の霊がわたしの上におられる。  
貧しい人に福音を告げ知らせるために、  
主がわたしに油を注がれたからである。  
主がわたしを遣わされたのは、  
捕らわれている人に解放を、  
目の見えない人に視力の回復を告げ、  
圧迫されている人を自由にし、  
主の恵みの年を告げるためである。」  
（ルカ4・18～19）

## 喜捨のすすめ

洛東ブロック担当 一場 修 神父

いつくしみの特別聖年が始まった。今年の11月20日（王であるキリストの祭日）までの間、私たちは、いつくしみの心をもって生きていくよう招かれている。

慈悲喜捨という仏教用語がある。ここでは、この言葉をキリスト教的にとらえてみたい。慈悲は、いつくしみの心を意味する。「喜」とは、隣人と喜びを共にすることであり、「捨」とは、自分の思いを捨てることである。いつくしみの心は、この喜捨が伴わなければならない。

隣人と喜びを共にすることは、案外難しい。隣人が自分よりも幸せに見える時、それも、その幸せが自分の関わりで実現した時、心から喜べるだろうか。隣人の幸せを願いながら、自分より幸せな相手を受け入れられない、というのが現実ではないだろうか。

いつくしみの心は、自分の熱い思いが伴う。この熱い思いがあるから、私たちは動くことができる。しかし、自分の強い思いとして、隣

人の立場を、隣人の隠れた思いを忘れさせる。隣人を、自分の思い通りに動かそうとする。

喜捨が伴わない慈悲、それは、怒りへと変わっていくだろう。自分より幸せな相手をゆるせないという怒り、自分の思いをわかってもらえないという怒りが生じるだろう。いつくしみの心がいつの間にか、怒りの心になっている。

喜捨の心を持つために必要なこと、それは、祈ることである。祈って、神の目で見ること、神の耳で聞くこと、神の心で行うことである。そして、神のように完全になれない自分を、不完全な自分を素直に認めることである。神がいつくしみ深いようにいつくしみ深くなれない自分をしっかりと見つめることである。



この一年、神のように完全になれない自分を忘れず、神のようにいつくしみ深くなれるよう、少しでもなれるよう、歩んでいきたい。

# 「いつくしみの特別聖年」 開幕

2015年12月8日～2016年11月20日

教皇フランシスコの呼びかけによる「いつくしみの特別聖年」が、2015年12月8日「無原罪の聖マリア」の祭日から始まりました。バチカンでは、教皇フランシスコによる開幕ミサがささげられ、聖ペトロ大聖堂の「聖年の扉」が開かれました。



河原町教会では、12月13日（日）10時半から大塚司教によって「いつくしみの扉を開ける式」が行われ、引き続き「開幕ミサ」がささげられました。同じ日に、全世界の司教座聖堂でも「いつくしみの扉」が開かれました。

司教は「扉を開いて中に入り、神に語りかけ、いつくしみとゆるしをいただきましょう」と呼びかけ、「扉を開くということは、わたしたちの心の扉を開いて入ってこられる主を迎え、人を裁かず、弱い人、困難を抱えている人に心を開いて、いつくしみを持って生きていくことです」と、特別聖年を意義深く過ごすよう皆を励ましてくださいました。

(編集委員)



いつくしみの扉を開ける式



## 1月の聖人

トマス・アキナス司祭教会博士

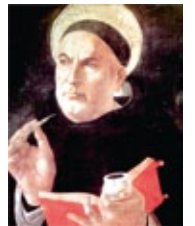
(1226年～1274年) 1月28日

トマスは、北イタリア・ロンバルディアの貴族の家に生まれ、幼いころからベネディクト会のモンテ・カッシノ修道院で教育を受け、ナポリ大学で学び、司祭になることを決意した。トマスは、設立されたばかりのドミニコ会に入ろうとしたが、両親や兄弟に猛反対され城に閉じ込められもした。しかし、初志を貫いてドミニコ会に入り、パリとケルン(ドイツ)で哲学、神学などを修めた。内気なトマスは、学生仲間から「だんまり屋のシシリー牛」と軽蔑されたが、教授であった聖アルベルトは、彼の奥深い才能を見抜き、その後も二人は固い友情で結ばれていた。

やがてトマスは、当時最も優れた学者となり、パリやイタリアの大学で教鞭を取った。当時のヨーロッパ世界には、ギリシャ哲学者アリストテレスの思想が入り、ある学者はキリスト教を捨て、ある学者はその思想をキリスト教に反するものとして否定する、という思想的混乱が巻き起こっていた。

トマスは、アリストテレスの思想のある部分を取り入れ、キリスト教に合った哲学と神学の書を著わした。それが、不朽の名著とされている『神学大全』である。

トマスは、1274年にリヨン公会議に赴く途中、病に倒れ亡くなった。彼は、学生・学校の保護者とされている。  
(参考:女子パウロ会ホームページ)



- を配布予定⑥ザビエル訪れ会11月22日に5名訪問。11月29日例会開催。市民クリスミアアンケート実施後、回答分析を予定
- 施設管理部 11月29日教会美化デー、聖堂北側屋根樋の清掃も実施した。
- 広報部 ①「教会だより」の郵送先について再検討する。②クリスマスチャリティコンサートと市民の集いの案内を教会公式ウェブサイトとフェイスブックに掲載する予定③来年度の責任者は部長⇨神藤、副部長⇨嶋崎晴信
- 部会報告 四ページの行事予定欄に記載
- 協議事項 (1)2016年度役員選挙について 立候補者がなく実施されなかった。役員候補者として岩田啓子氏と松本一美氏が推薦され、評議会において新役員として承認された。
- (2)「いつくしみの特別聖年」について 特別聖年行事として、ぶどうの会とも協力し巡礼等の計画を検討する。
- (3)市民クリスマス実行委員会から 例年通り準備、実施する。24日の会場等の準備は午後2時から開始。20日10時半ミサ後、パンフレットの挟み込み作業と開催前説明会を実施予定
- (4)来年度予算案は当年比で減少の見込み
- (5)共同宣教司牧について、各部会で長期目標を検討し1月に教区に文書提出予定
- その他
  - ・聖堂北面屋根樋の詰まりは清掃完了。地下小聖堂の漏水による跡やクラックの補修を予定
  - ・2017年の新聖堂建築50周年行事に向けて検討する。



## “待降節黙想会”に学ぶ

12月5日(土)、河原町教会主催の待降節黙想会が行われました。一場修神父が、教皇フランシスコのいつくしみの特別聖年大勅書『イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔』をテーマにお話くださいました。

(要約：教育部担当者)

### ■特別聖年がめざすもの

特別聖年開催の大きな意味の一つは、2015年が第二バチカン公会議閉幕50周年にあたるということです。第二バチカン公会議は教会の新たな歩みの始まりとなり、「教会は、御父の愛の生き生きとしたしるしとして世にある責任を自覚したのです」。50年を経て新鮮味や熱意が失われている今、決意を新たにしていって公会議で得た目的に立ち返って、「すべての人の母、寛容で忍耐強く、あわれみといつくしみの心に動かされる母」としての「教会」のあり方をめざすものです。

### ■善いサマリア人である教会

善いサマリア人(ルカ10章)は、傷ついた人を見て憐れに思い、全存在をかけて最後まで関わりました。苦しむ人と共に宿屋まで向かうのです。それは、「いつくしみを生きる教会」の姿です。公会議は、教会が、このサマリア人のように世界と関わっていくことを示したのです。

### ■完全になれないわたしたち

マタイ5章に「あなたがたも完全な者となりなさい」とあります。完全になれないわたしたちですが、愛における完全を追い求めていかな



ければなりません。しかし自分の愛が完全だと思つと、その時点で完全でなくなります。完成をめざしながらも完成しないのが愛であり、そこから新たな一步を踏み出すよう励まされています。

### ■すでに愛され、ゆるされている

わたしたちは恵みによって、すでに聖なる者にされています。神から愛され、ゆるされているから、隣人を愛し、ゆるすことができるのです。人々の喜びと希望、苦悩と不安を自分のものとして共有し連帯する・・・それがいつくしみです。自分も同じように限界のある弱い人間だから共有する・・・これがイエス・キリストが人となられた意味です。イエスの十字架上での叫びは、人々の苦しみ、悲しみを共有するためであり、復活されたのは人々の希望、喜びとなるためです。それこそが救いのメッセージです。

### ■捜してくださる神

大勅書は、イエスの姿を見出すために福音に目を向けるよう招いています。イエスは神の愛が「見える形になった方」です。教皇が強調するのは「憐れみ、選んだ」ということです。わたしたちは、自分が優れているからではなく、神の憐れみ

によって選ばれました。ルカ15章の見失った羊、無くした銀貨、放蕩息子のおとえ話は、神のいつくしみ・ゆるし・愛を豊かに表しています。いなくなった者をずっと捜し続けた神が、その者を見つけた時、あわれみと共に喜び祝いました。これが神のいつくしみの姿です。

人は神から離れては生きていきません。神はそれを知っておられるので、わたしたちが立ち戻った時、喜ばれるのです。ですから、ミサ、ゆるしの秘跡などは、すべて祭儀・祝いです。秘跡を通して神と人間の絆は回復し、生き返り、その喜びを共有し、証していくのです。



### ■ゆるしといつくしみ

人生とは旅です。いつくしみはたどり着くべき旅の目的です。ゆるしとは、忘れることではなく、相手の立場に立ち、深く理解すること、表面的にではなく、相手の痛みを全身で引き受けることです。イエスはそれを示されました。そのイエスの姿を思い起こし、互いの違いを認め、ゆるしといつくしみに向けた巡礼の道を歩んでいきましょう。神のいつくしみを体験して、御父のようにいつくしみを生きる教会の歩みを新たに始めたいと思います。

## 河原町教会十二月評議会報告要約

開催日 二〇一五年十二月六日(日)

### ■司祭団の報告

- ① 高山右近オペラ上演への協力に感謝
- ② 各部会で長期目標案を検討してほしい。
- ③ 特別聖年の準備等に協力ください。
- ④ 「京都南部地区適正配置について」その内容を信徒が周知できるように配慮する。

### ■報告事項

- (1) 南部地区適正配置について  
2016年から十年間で、現存する教会を可能な限り存続させつつ、ブロック内の小教区を統合して、各ブロックを一つの小教区にする。ことを目指す司教文書が出された。後日プリントを配布する。

### ■部会報告

- 典礼部** 12月13日の「いつくしみの聖年の扉を開ける式」の打ち合わせを行った。
- 財務部** ①来年度の各部会予算申請を評議会に諮る。②来年度責任者は部長、副部長、倉狩、岩田
- 教育部** ①土曜学校 12月12日子どものためのミサ・クリスマス会・終業式の予定  
② 中高生会 12月12日の土曜学校クリスマスに参加予定。12月24日クリスマス会  
③ 青年 2016年7月23日～8月5日開催の世界青年の集い(クラクフにて)への参加者を募集中。12月26日の「青年のためのミサ」への案内状を発送し、返信が60名あり。④信徒養成 12月5日の黙想会参加者は約百名で有意義であった。洛東ブロック四旬節黙想会2月27日(土)指導 鈴木信一神父(聖パウロ会)を予定  
⑤ キリシタン研究会 12月13日例会で京都キリシタン研究会合同発行機関誌「証灯」

◆ 2016年1月・2月の行事予定 ◆  
(2月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜	行 事 予 定
1	1	金	「神の母聖マリア」 元日ミサ 7:00・10:30
	3	日	「主の公現」
	10	日	「主の洗礼」 評議会1月例会 10:30ミサ後
	18	月	キリスト教一致祈祷週間(25日まで)
	23	土	村上透磨神父・司祭叙階金祝ミサ 11:00
	24	日	河原町教会総会 10:30ミサ後(ヴィリオンホール)
	30	土	洛東ブロック会議 14:00(山科教会)
2	31	日	村上透磨神父霊名(トマス・アクィナス 1/28 記念日)のお祝い 10:30ミサ 教会美化デー ユスト高山右近列福祈願ミサ 15:00 カトリック児童福祉の日
	2	火	「主の奉献」
	7	日	評議会2月例会 10:30ミサ後
	10	水	「灰の水曜日」(大斎・小斎) 四旬節愛の献金(四旬節中)
	11	木	日本26聖人殉教者記念ミサ(西陣教会)14:00 世界病者の日
	27	土	洛東ブロック四旬節黙想会 10:00(河原町教会)

## 12/13 クリスマスチャリティーコンサート♪ ご協力に感謝



先日13日に開催された河原町教会主催クリスマスチャリティーコンサートの収益金は、募金箱献金を含めて計299,875円でした。

全額をネパール大地震復興支援金として、ノートルダム教育修道女会(写真/シスター ジャネット田中)にお届けしました。温かいご協力、ありがとうございました。



◆ぶどうの会からの報告:12月6日(日)開催の手作りの品バザーの売上金は112,100円でした。京都教区サポートセンターを通して東日本・大船渡支援に5万円、京都聖嬰会に5万円を送らせて頂きました。皆様のご協力に感謝します。

### 河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

\* 英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

### 信仰の学びのお知らせ

#### ◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00(第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)

水曜日 10:00 一場 修神父(1F)

19:00(第1・祝休) 一場 修神父(1F)

木曜日 15:00(祝休) 一場 修神父(1・3F)

金曜日 15:00 シスター 庄子(3F)

19:15 村上 透磨神父(1F)

#### ◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】

第1水曜日 19:00~20:00 一場 修神父

【山科教会】

毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】

毎火曜日 10:00ミサ後~11:30 一場神父

【桃山教会】

第1・2・4金曜日 19:30~20:30 一場神父

#### ◇南部地区信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

1月21日(木) 14:00

2月18日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

#### ◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

毎月/第3火曜日 10:30

※福音の分かち合いです。どなたでもどうぞ。

カトリック河原町教会だより 2016.1

発行:カトリック河原町教会 担当司祭:一場 修

編集:カトリック河原町教会 広報部

住所:〒604-8006 京都市中京区河原町通三条上る下丸屋町423

電話:075-231-4785 ファックス:075-211-8021

URL: <http://kawaramachi3.com>



河原町教会公式ウェブサイト



河原町教会公式フェイスブック